

向日が丘支援学校改築基本構想検討会議（第2回）の議事要旨

1 日時

平成30年10月26日（金曜日）午後3時から同5時まで

2 場所

京都府立宇治支援学校

3 出席者

【委員】

青木委員、池田委員、太田委員、能塚委員、野田委員、平岡委員、丸岡委員、水上委員、山本委員（欠席委員2人）

【オブザーバー】

齋藤乙訓教育局長、時田乙訓保健所長（代理 井上福祉室長）

【事務局】

細野指導部長、平野管理課長、安田特別支援教育課長他
（会場校校長）
川高宇治支援学校長

4 議題

- (1) 開会挨拶 京都府教育庁 細野指導部長
- (2) 事務局説明
- (3) 学校見学
- (4) 向日が丘支援学校の目指す学校像について
- (5) 基本構想検討項目に係る意見交換（主な意見）

ア 教育活動について

- (ア) 宇治支援学校に寄宿舎はないが、生活学習室を活用した宿泊学習や修学旅行前の事前学習など、望ましい生活習慣が着実に身につけられるよう、保護者の協力も得ながら一定の期間、丁寧に学習活動を行っている。学校卒業後の社会的自立に向けた生活する力を学ぶ学習環境として充実しており、自立して社会参

加していく力は十分つけている。

宿泊訓練や機能訓練などを将来にわたって維持していくには福祉施設の役割も大きいと感じる。

- (イ) 子どもたちの様々な体験や可能性を広げるためにも、地域の人々や伝統文化とのふれあいは大事であると感じており、交流し、発表する場が必要である。
- (ウ) 医療的ケアが必要で、障害が重度であっても地域で生活されている方が増えてきており、具体的な支援について盛り込んでほしい。

イ 地域における学校の役割について

(ア) 寄宿舎については、現状としては、緊急対応が必要な場合に利用している実態があるので、福祉の側からは、寄宿舎がどうなるのかという不安がある。ただ、福祉の方でも、自立訓練や生活訓練、機能訓練のサービスがあり、また体験型グループホームもあるので、教育から福祉につなぐものが向日が丘支援学校でできればと思う。

(イ) 障害者スポーツができる施設がなくて困っているという話を聞くので、卒業生だけでなく障害のない地域の方も含めて、支援学校の体育館を利活用できるようになれば、地域共生の入り口になると思う。

(ウ) 地域の方とふれあい、自身の可能性を広げるために、宇治支援学校の音楽堂のように地域との交流が広められる施設がほしい。

(エ) 大規模な災害時等には、障害のある方々がより安全に福祉避難所として活用できるのではないかな。

(オ) 学校周辺が非常に自然が豊かで散歩コースもあるところなので、展示スペース等ちょっと立ち寄れるような施設があれば、一般の方が行き交う場所になり、共生に繋がっていくのではないかな。

(カ) 休日・時間外の管理を学校が行うのではなく、委託することや、施設の配置を考える等して地域の方が入りやすい工夫をしてほしい。

(キ) 地域に開かれた学校としながら、防犯上、子どもを守ることが課題となる。ハード面で工夫するのか、地域住民による見守り体制の構築なのかは、今後の検討事項となる。